

特集 令和7年度版
中学校英語教科書

Here We Go!

ENGLISH COURSE

のご紹介



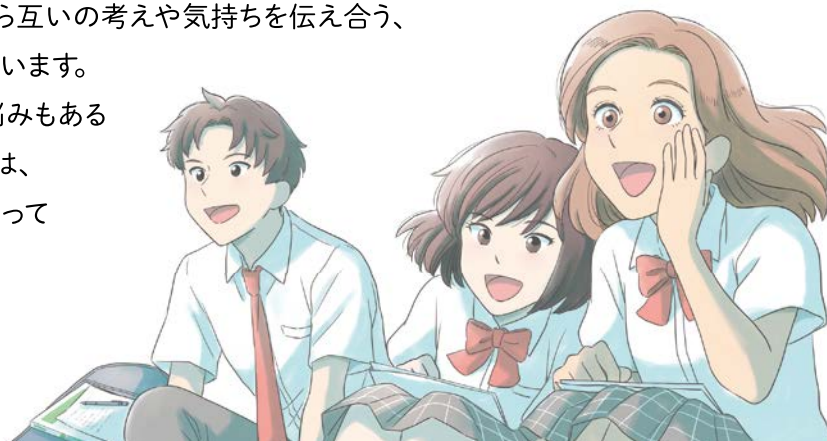
続きが早く知りたい!

クラスみんなで
Kotaたちに手紙を送ってみよう!

Tinaの気持ち、
とてもよくわかるよ....

ストーリーは、 生徒の学びの原動力。

Here We Go!の本文は、4人のキャラクターが、
さまざまな出来事を経験しながら互いの考えや気持ちを伝え合う、
3年間のストーリーで構成されています。
長所だけでなく、苦手なことや悩みもある
等身大の中学生のキャラクターは、
この教科書で学ぶ生徒たちにとって
仲間のような存在として、
学びの原動力になっています。



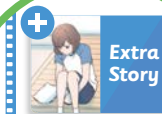
新版教科書は、
キャラクターとともに学び、楽しく力がつく
QRコンテンツが満載です!



NEW
QR

●Extra Story

ストーリーの番外編を描いた、
楽しい補充用リーディング教
材です。推測をはたかせな
がら読む力が自然
と育ちます。



教室を飛び出してしまっ
た Hajin の後を、Tina
が追いかけます。→ QR

ing Together Part 3



Tina: Are you OK?

Hajin: Yeah, I'm fine now. I just lost my temper.

Tina: You know, Eri was trying to make it better.

Hajin: I know. I'll apologize to her later.



Kota: Eri, are you all right?

●Eri and Kotaと 学ぶ基本文

キャラクターの会話に参加し
ながら、基本文を
使う練習ができま
す。



Are you...?

hungry?

あなたはおなかがいっぱいですか。

●実写ドラマ

大好評のドラマが、QRコード
から、いつでも見られるよう
になりました。



ドラマは全て
新規撮影!



次のページでは、
ストーリーがさらに生きる、
Here We Go!
の3つの特色をご紹介します。



※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

英語を使う力がつく

「生徒にたくさん英語を使わせる」全体構成は
現行版そのままに、「くり返し触れ、くり返し活用する」
という観点で各単元の構造や系統を整理し、
より着実に英語を使う力が身につくようにしました。

新しい教科書の
構造と系統

CAN-DOリストで、「できるようになること」とその過程がわかる

巻末の「CAN-DO List」で、学年全体の目標と現在地がわかります。また、目標に到達するまでの
過程やこの先の成長イメージなど、見通しをもって学習を進めることができます。

CAN-DO List									
2年目標		あなたは どこまでできる？ ○でマークしよう		あなたが ほしい 達成したい できる 自信をもって できる		年目標はここに書き、自分がどのくらい できるようになっているのか自己評価して、 次の目標を立てよう。			
領域別の到達目標 (CAN-DO)		相手に自分の考えを伝えることができる		自分の意見や考えを伝えることができる		説明や勧誘をすることができる			
		Unit 1	Unit 2	Unit 3	You Can Do It! 1	Unit 4	Unit 5	Unit 6	You Can Do It! 2
Listen		Unit 1 Part 1	Unit 2 Part 1	Unit 3 Part 1	Unit 4 Part 1	Unit 5 Part 1	Unit 6 Part 1	Unit 7 Part 1	Unit 8 Part 1
聞く	L-1	自分の名前について、 必要な情報を聞き取ることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
	L-2	自分の名前について、 おおよその内容を聞き取ることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
	L-3	自分の名前について、 必要な情報を聞き取ることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
Read		Unit 1 Part 2	Unit 2 Part 2	Unit 3 Part 2	Unit 4 Part 2	Unit 5 Part 2	Unit 6 Part 2	Unit 7 Part 2	Unit 8 Part 2
読む	R-1	自分の名前について書かれた文章から、 必要な情報を読み取ることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
	R-2	自分の名前について書かれた文章を読み、 おおよその内容を聞き取ることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
	R-3	自分の名前について書かれた文章を読み、 必要な情報を聞き取ることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
Speak		Unit 1 Part 3	Unit 2 Part 3	Unit 3 Part 3	Unit 4 Part 3	Unit 5 Part 3	Unit 6 Part 3	Unit 7 Part 3	Unit 8 Part 3
話す (やり取り)	SI-1	自分のことや興味のあることについて、 その場で質問したり、伝え合ったりすることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
	SI-2	ストーリーや自分の経験について、 事実や気持ちを整理して、やり取りすることができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
Write		Unit 1 Part 4	Unit 2 Part 4	Unit 3 Part 4	Unit 4 Part 4	Unit 5 Part 4	Unit 6 Part 4	Unit 7 Part 4	Unit 8 Part 4
書く	W-1	自分のことや興味のあることについて、 事実や気持ちを整理して、書くことができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good
	W-2	自分のことや興味のあることについて、 事実や気持ちを整理して、書くことができる。	Good	Good	Good	Good	Good	Good	Good

2年 CAN-DO List(後見返り2-3)

POINT

単元ごとに、重点化領域(重点的に指導と評価を一体的に行っていただきたい領域)を設定。先生方の評価の負担を軽減しながら、バランスよく5つの領域の力を育成できる設計です。

POINT

毎Unitで行う活動や、帯活動などで継続的に扱うことで力がついていく教材を明示しました。

令和7年度版中学校英語教科書
Here We Go! 内容解説資料
「編集の趣旨と特色」より抜粋

学びの系統性を整理しました

読む・書く・聞く・話す(やり取り)・話す(発表)の4技能5領域において、1～3年生で学ぶことを整理し、着実にステップアップしていけるように構成しています。



「話すこと(やり取り)」の系統とポイント

帯教材や、継続的な「About You」の活動で、
即興的なスピーキングの力を育てる

学年	その場で質問したり、伝え合ったりする力	事実や気持ちを整理して、やり取りする力	聞いたり読んだりしたことをもとに、要点や自分の考えを伝え合う力
1年	自分のこと、興味のあることについて、その場で質問したり、伝え合ったりする [Unit 各 Part]	自分のこと、興味のあることについて、事実や気持ちを整理して、やり取りする [Unit 各 Part]	聞いたり読んだりしたことをもとに、要点や自分の考えを伝え合う力 [Unit 各 Part]
2年	自分のこと、興味のあることについて、その場で質問したり、伝え合ったりする [Unit 各 Part]	自分のこと、興味のあることについて、事実や気持ちを整理して、やり取りする [Unit 各 Part]	聞いたり読んだりしたことをもとに、要点や自分の考えを伝え合う力 [Unit 各 Part]

“How about you?”に答えて話す活動が、
発信力を育てる

小学校

How about you?

中学校

Here We Go!には、キャラクターが“How about you?”と質問を投げかけ、児童生徒がそれに答える活動が多数設定されています。「キャラクターに伝えたい」という気持ちが、Here We Go!で学ぶ子どもたちの発信を促します。



光村図書 小学校英語教科書
6年 Unit 4(p.44)
Small Talk ミニアニメ

1年 Active Grammar 3
(p.95) ミニアニメ



即興的なスピーキングの力を育てる教材が充実

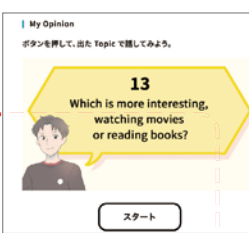
普段の授業だけでなく、家庭学習でも活用できるスピーキング教材を充実させ、3年間で継続的に即興的なスピーキングの力をつけていくことができるようにしました。



帯活動での使用を想定した、
自分自身や身近なことを話題
に即興的なやり取りの練習が
できる教材です。

POINT

質問がランダムに提示されるQRコンテンツを用意。家庭でも即興で話す練習ができます。



2年 Let's Talk!
(とじ込みp.6-7)

Story Retelling

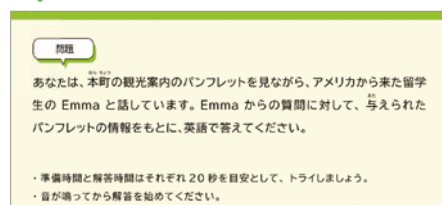
自分の言葉で説明・描写する
力を育てる教材です。



2年 Story Retelling
(p.124)

テストにトライ!

学期のまとめの活動に関連した、スピーキングテストに挑戦できるQRコンテンツです。



2年
You Can Do It! 1
(p.46-47)
「テストにトライ!」



自ら学ぶ態度が育つ

先生方の教室での声かけを参考にしたヒントを選びぬいて掲載しました。学びを自己調整し、主体的に学習に取り組む生徒を育てます。

学び方を工夫・改善するためのガイドが充実

「英語の学び方ガイド」が、生徒の悩みに答える

これまでの教科書よりも英語の学び方に関する内容を大幅に拡充し、各学年の巻末に配置しました。「音読をするときに、何を意識すればいいの?」「自分で英語の文を作るのが苦手です。」といった、生徒のよくある質問や悩みに、具体的に答えます。

リスニングの学び方

Q ゆっくり読んだらわかる文章なのに、聞き取ることができません。

A1 リスニングの音声を使い、1文1文の意味を理解する聞き方で、練習してみましょう。

授業でのListenの活動は、聞いて質問に答えることが中心ですが、その後の確認とくり返しも大切です。自分がわからなかった部分を次のような聞き方で確かめ、「聞いてわかる」英語を増やしていきます。

意味を理解するための聞き方

- 1 一時停止して、ボーズ（間）を置きながら聞く。ボーズは、文の区切りなどで置くこと。
- 2 少し戻って再生しながら、くり返し聞く。
- 3 少し戻って再生しながら、くり返し聞く。スクリーン（文字）を見ながら聞く。聞いて理解できなかった部分に下線を引く。
- 4 スクリプトを見ながら、音声とじっくりと音読する。



「Hey! Kotaは、こんなことを言っていた!」

A2 聞き方には、ちょっとしたコツがあります。

初めから全部がわかることを目指す必要はありません。聞く目的を確かめ、それに合った聞き方を工夫してみましょう。p.144



1文ずつの意味を確かめる聞き方、場面ごとで繰り返す聞き方、どちらもバランスよく練習するのが大切だよ。

家での学び方

前の学年や学期のリスニングの音声を、もう一度聞いてみよう。

前に学習したときから、2〜3ヶ月ほど時間を置いてくり返し学習することで、英語が定着していきます。

QRで デジタル教科書で

2年「リスニングの学び方」(p.138)

POINT

必要な情報の読み取り方や紹介文の書き方など、言語活動の中で扱ったTIPSをまとめ、いつでも振り返り、生徒自身が学びに生かすことができるようにしました。

Tinaたちの希望を確かめて、線を引きながら読もう。



英語をよりよく使うためのTIPS

2年生の活動を通して学ぶこと、目標達成に向かって粘り強く取り組むためのTIP(コツ)を紹介しています。活動の目標を立てるときや、振り返るときに参考にしましょう。

「聞いたり読んだりするときのコツ」

1. 目的に応じた聞き方【読み方】

目的・場面・状況を確認し、次の3つのうちの聞き方【読み方】をするかを、まず決めるようにしてみましょう。

- 必要な情報を聞き取る【読み取る】
- 聞いて【読んで】、おおまかな内容を捉える。
- 聞いて【読んで】、要点を捉える。

全部を理解しようとがんばりすぎなくても大丈夫!



2. 必要な情報の聞き取り方【読み取り方】

必要な情報を得るために、次のことを意識してみましょう。

- 先に質問などを見て、知りたいことが何かを確かめる。
- ポイントをしぼり、質問の答えや具体的な情報を探しながら聞く【読む】。
- どのあたりに答えがありそうか、見当をつけて聞く【読む】。

Unit 2 Goal (p. 26)、Unit 4 Goal (p. 57) など

3. おおまかな内容を捉える聞き方

話の内容をおおまかに理解するために、次のことを意識してみましょう。

- タイトル、絵や写真、場面・状況の説明などを手がかりに、聞く前に話題を予想する。
- 聞こえた単語や効果音、絵や写真などをもとに、場面の様子を絵で思い浮かべる。
- 話し方や声の調子などから、話し手の気持ちを推測する。→喜んでいる、心配している など

Unit 1の巻末、Unit 7 Goal (p. 98) など

4. おおまかな内容を捉える読み方

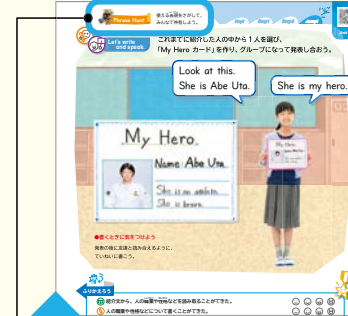
長めの文章を読んで、内容をおおまかに理解するためのコツを意識してみましょう。(詳しくは p. 139)

Unit 6 Goal (p. 78)、Let's Read 3 (p. 115) など

5. 要点を捉える聞き方【読み方】

話の要点(話し手や書き手が伝えたいこと)をつかむために、次のようなことを意識してみましょう。

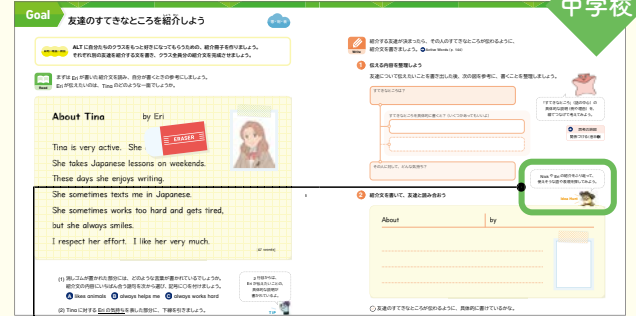
既習表現の活用を促し、生徒の発信力を伸ばす



小学校 光村図書 小学校英語教科書 5年 Unit 5 Jump (p.65)

Phrase Hunt

使える表現をさがして、みんなで共有しよう。



1年 Unit 6 Goal (p.92-93)

活動の「中間ふり返し」の段階で、既習の本文から語句や表現を探し、自己表現に生かすためのヒントを示します。既習の英文を参考に、自分なりに工夫して表現する力を育てます。

「思考の地図」が、伝える情報の整理を助ける



- 3年間で紹介する思考ツール一覧
- マッピング
 - アウトライニング
 - ステップチャート
 - マトリックス表
 - クラゲチャート
 - ペン図
 - Yチャート



学習キャラクター オービー

やわらかい体と頭で、思考法や思考ツールの使い方を紹介するよ。

1年「思考の地図」(後見返し4)

学びを社会生活や未来につなぐ

「自分ごと」に
できる題材

現代社会が抱えるローカルおよび
グローバルな課題に気づき、よりよい社会の形成に
主体的に参画する態度が育つようにしました。

同世代の子どもたちを通して、世界のさまざまな話題に向き合う

教材で扱う話題には、生徒と同世代の子どもたちの様子や社会的な取り組みを伝えるものを多く選びました。話題への興味・関心が高まるだけでなく、生徒が自分自身に近づけて考えやすく、題材への理解や活動が深まります。

Let's Read
Let's Read More

まとまった分量の文章を読み、目的や
文種に応じた読み方を身につけるため
の教材です。

Let's Read 1

Goal Read 読解文を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。

Emojis — From Japan to the World

Before You Read 1

Everyone in the world uses emojis these days. Emojis were invented in Japan in 1999 for Japanese mobile phones. They were inspired by Japanese manga and pictograms. Emojis became international when they were introduced to smartphones. Now people all over the world love emojis. In fact, a famous dictionary in the U.K. chose the emoji "Face of Tears of Joy" as its "Word of the Year" in 2015.

Words

- invented /ɪnˈventɪd/ 考案
- mobile phone(s) /məʊˈbaɪl fəʊn/ 携帯電話
- smartphone(s) /ˈsmɑːtˌfəʊn/ スマートフォン
- fact /fækt/ 事実
- dictionary /dɪkʃənəri/ 辞書
- tear(s) /tɪə(r)/ 涙

Introduce ~ to ... ~を～に紹介する

in fact 実際

tears of joy うれし涙

2年 Let's Read 3 Emojis —
From Japan to the World (p.112-115)

How about this: 🧐 This emoji shows a woman with a head scarf. It was proposed by a 15-year-old Muslim girl in 2016. She couldn't find an emoji to represent a Muslim woman, so she made a new one.



スクリーンショット (ヒジャブ) を着用した女性の絵文字を提案する Playout (ラウフ) さん。

World Tour

映像や音声を通して、世界の国々や、
そこで暮らす人々の多様さに気づくこ
とをねらいとした付録教材です。

World Tour 1

Speak Up!
世界を変える若者たちを知ろう

インターネットで、世界をよりよくするために活動する若者たちを紹介する動画を見つけました。動画をみて、下の年表の()に当てはまる数字や語句を書きましょう。

year	age	What happened?
2017	()	Hurricane Maria hit Puerto Rico. He started to raise () for solar lamps and hand-powered washing machines.
()	17	He received the "President's Environmental Youth Award."
()	20	Another hurricane hit Puerto Rico again. He restarted the project and helped people again.

Salvador Gómez-Colón
PUERTO RICO 1994-2020

year	age	What happened?
2011	()	The Syrian civil war started.
()	13	She had to flee Syria.
		She started to live in a refugee camp in Jordan.

3年 World Tour 1 Speak Up! (p.46)

3年 Let's Read More 1
Elections in Norway
(p.106-107)

Let's Read More 1

ノルウェーの選挙の様子について紹介している記事を読みましょう。日本とはどのような違いがあるのでしょうか。

Elections in Norway

During election campaigns in Oslo, Norway's capital, you can see cute, colorful huts along the main streets. Can you guess what they are? They're the campaign stands of political parties. Party members stand in front of them and try to appeal to members of the public. Party leaders visit the stands, too. Citizens casually visit the stands and politicians.

There are a lot of children in the stands, usually, among the people around the stands, elementary school children are seen. They visit the stands by...

実在する同世代の子どもたちの映像を通して、
多文化共生の心を育む

小学校 世界の友達 1 (p.46)

中学校 世界の中学生 2 (p.124)

光村図書 小学校英語教科書5年
世界の友達1 (p.46)

1年 World Tour 2 (p.124)

小学校の英語では、実在する
同世代の子どもたちの映像を
通して、互いの違いや世界の
多様さに気づき、それらを尊
重する態度を養います。中学
校でもこの学びを引き継ぎ、
多文化共生の心を育みます。

言語活動を通して、多様な見方・考え方をはたらかせる

言語活動を通して、現代社会が抱える課題が生徒にとって「自分ごと」になり、多様な見方・考え方が育つように、それぞれの題材を扱う活動の目的や場面、状況の設定などを工夫しました。

あなたは、非常用持出品を入れた「中学生用 防災バッグ」の見本を作り、紹介することになりました。災害時に本当に役立つものにするため、必要なものをグループで話し合い、中身を決めましょう。

Goal 防災バッグの中身を決めよう

あなたは、非常用持出品を入れた「中学生用 防災バッグ」の見本を作り、紹介することになりました。災害時に本当に役立つものにするため、必要なものをグループで話し合い、中身を決めましょう。

1 a helmet 2 work gloves 3 coins and a wallet 4 clothes 5 a bottle of water 6 an umbrella 7 a first-aid kit 8 a map 9 a whistle 10 a charger

Unit 5 Goal

防災、
安心・安全

2年 Unit 5 Goal
「防災バッグの
中身を決めよう」
(p.66-67)

Daily Life Scene 4

講演

あなたの学校に、インドネシアのバリ島から、グストがやって来ました。彼女の講演を聞き、感想や質問を伝えましょう。

3. 講演を聞いた後、一言ずつメッセージを書いてゲストに送ることになりました。聞いた内容についての感想や、ゲストへの質問を書きましょう。

環境問題

3年 Daily Life 4「講演」(p.70)

POINT

3年生では、「聞いたことをもとに書く」など、領域統合型の活動を多く設定しています。高校入試やそのほかの外部試験への対応も意識した活動形式です。